

令和2年用 国土緑化運動・育樹運動

# ポスター原画コンクール 入賞作品集



公益社団法人 国土緑化推進機構

# 刊行にあたって

国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクールには、毎年全国の小・中・高等学校の皆さんに多数ご参加いただいております。今年も、全国で2,621校から32,247点の作品が寄せられました。

このコンクールは、昭和25年以来の長い歴史を有しており、今回で70回を数えています。小学校の皆さんからの応募は全体の半数以上を占めており、今回は2万点を超える応募となりました。応募点数は児童・生徒の皆さんの緑化に対する関心の高まり等を示すものであり、大変喜ばしく思いますと同時に、これまでの関係者のご努力に心から敬意を表します。

選考は、各都道府県から推薦を受けた498点の作品を対象に、中央審査会において最終審査が行われ、入賞作品が決定されました。そのうち2点を、それぞれ国土緑化運動ポスター、育樹運動ポスターとして、緑化運動の普及・促進のため全国に掲示していただいております。

森林は、国土の保全や水源の涵養等の多面的な機能を有しており、近年においては、地球温暖化の防止や生物多様性の保全に貢献する森林の役割に対する関心・期待が益々高まっております。森林は人類共有のかけがえのない財産であり、この森林を健全に次の世代へ継承していくことが、世界的な課題となっています。世界の国々が国連で合意した「持続可能な開発目標（SDGs）」においても、森林の保全が目標の1つとなっています。SDGsを達成し、持続可能な社会を実現するため、森林づくりと木づかいの循環の回復に努める等「国民参加の森林づくり」を進めるとともに、引き続き、東日本大震災や熊本地震等の自然災害からの復旧への取組も行っていく必要があります。また、次代を担う子供たちの育成のため、企業・関連団体等と連携して、緑の少年団活動や学校林活動等、「森林を活用した持続可能な開発のための教育（森林ESD）」の一環としての森林環境教育を更に進めていくことが求められています。

このような折、多数の児童・生徒の皆さんが、このコンクールへの参加を契機として緑を大切にすることを育んでいただくことは、先に述べました森林づくりを推進していく上で大きな力になるものです。

また、受賞作品をとりまとめたこの作品集には、森林や緑に対する応募者一人一人の思いが表現豊かに描かれています。次代を担う青少年を含む大勢の方々にご覧いただき、「国民参加の森林づくり」運動の輪が更に広がっていくことを切に願っております。

結びに、このコンクールへの作品募集や推薦等のためにご尽力いただいた教育委員会、緑化関係部局等の都道府県の関係者の方々、各都道府県緑化推進委員会、中央審査会の先生方に心から感謝申し上げます。

令和2年3月

公益社団法人国土緑化推進機構

理事長 佐々木 毅

# ポスター原画コンクールの審査を終えて

今年度も無事に最終審査を終わることができました。ここに報告と入賞された作品などについて感想を述べさせていただきます。力強い表現や優れた制作意図が伝わってくる作品など、感ずるところが多々あり、大変有意義な審査ができました。

現在、地球温暖化の影響は、大規模な森林火災や海水温の上昇、未曾有の台風を引き起こし、水害、土砂崩れなど多くの災害をもたらし人々の生活を脅かしています。改めて山や海の重要性を考えさせられます。

「海と山は恋人」今回、佃和香さんはこのテーマに基づいたコンセプトで作品を応募してくださいました。以前東北地方の出来事が話題になりました。

漁師の皆さんが海を豊かにするには山を整えることが大事と気づき、皆で山の木々の整備を行い、川にも手を入れた結果、海が豊かになったというエピソードです。まさに海と山は切っても切り離せない関係にあるということですね。

では選考された作品について感想を述べてゆきます。

佃和香さんの「恋人」は、海の生物を主体に描くことで陸の豊かさを訴えたものでした。作品は全体に暗い印象になったのが残念で、もっと明るい色遣いの画になると訴える力が出たと思います。

時吉ふわりさんの「大きな木」は微笑ましい作品になりました。明るく物語が感じられる画です。

尾崎アロハさんの絵は楽しくまた密度のある優れた作品になりました。色遣いにもう少し工夫があればポスターのような大きな画面になっても耐えられたと思います。

野坂桃子さんの「たくさん植えよう」は、緑の精が空からどんどん降りてくる、そんな夢のある作品ですね。発想は面白いのですが色が暗く訴える力が弱くなってしまいました。明るい色調で描いたらもっと世界が広がったのではないのでしょうか。

秋谷壬結さんの「雨があがれば…」はとても詩的な世界を感じることができる絵です。赤い長靴が印象的で素晴らしい作品です。

川本望未さん「描く、育つ、緑ある未来」は大変インパクトのある作品です。明快なメッセージを発信していると思います。緑ある未来がどこまでもどこまでも続いて行く、そんな意図が伝わってきます。シンプルで動きのある力強い作品です。

宮崎梓さんの「このはのおめん」は楽しいですね。明るく生き活きとした可愛い絵になりました。

伊藤千紘さんの「枝うちは楽しいよ」は、森林を守る作業は大変ですが、よく観察して明解な画になっています。

川口愛夏さんの「何年先もずっと」は良いテーマですね。木の寿命は何百年といったものもあります。古い写真と現在の自分、今を考え未来を考えることは命の大切さを教えてくれますね。

石川珠羽さんの「守る手」は絵の力強さが感じられます。大きな真っ白な入道雲と赤いジョーロ、それに遅い手、たいへん明解で印象的な作品になりました。

以上何点かの作品について感じたことを述べてきました。

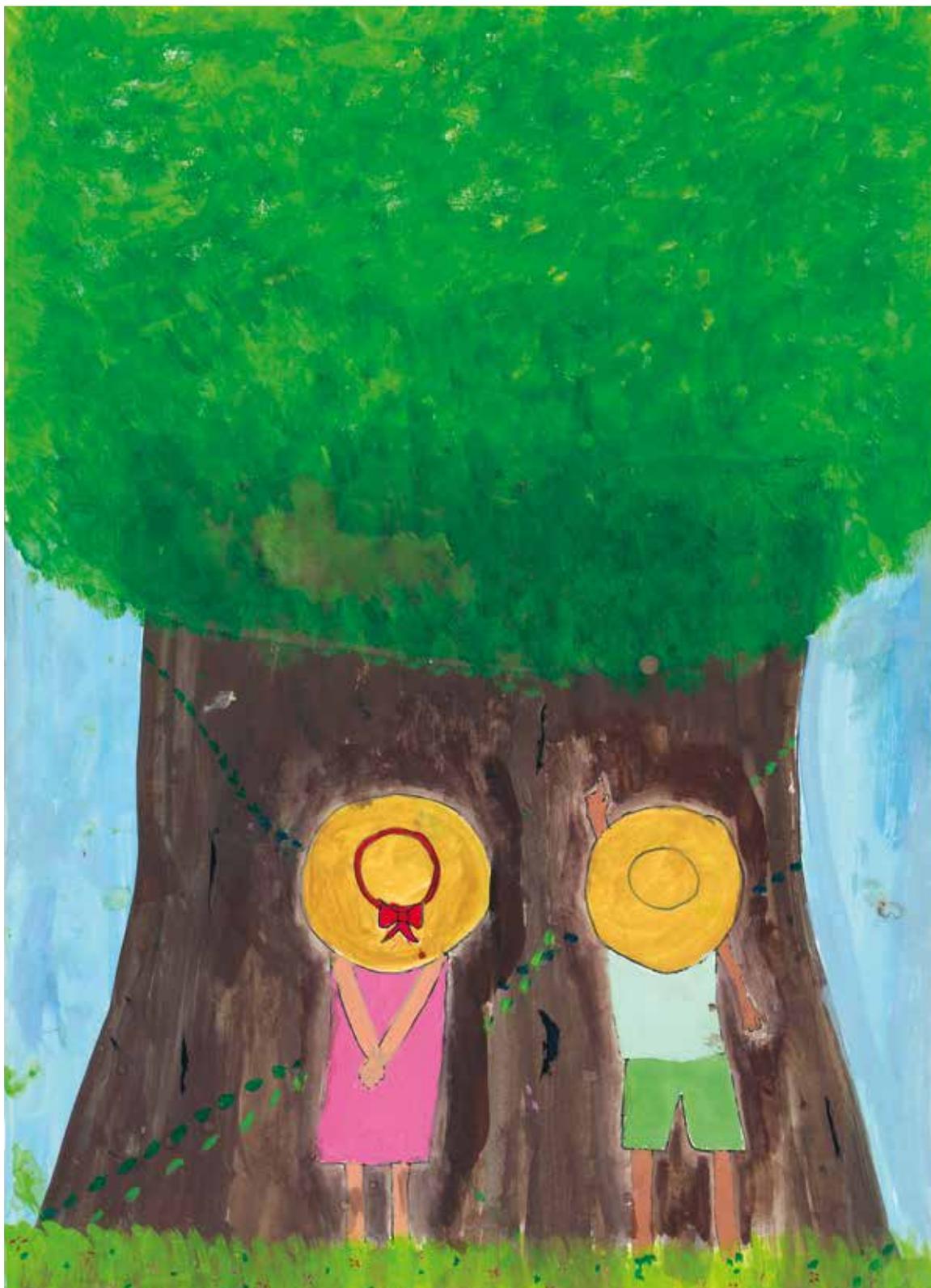
訴求力のある画、テーマ（コンセプト）がたいへん重要です。先生方、ご両親などと話し合い、何を描くかを大切に明解に表現して下さい。期待しています。



東京芸術大学  
名誉教授

宮下 安弘

育樹運動ポスター原画



宮崎県都城市立安久小学校 6年  
時吉 ふわり

タイトル「大きな木」

この絵のような大きな木がいっぱい育ってほしいと2人で話している様子。



島根県安来市立荒島小学校 5年  
野坂 桃子

タイトル「たくさん植えよう」  
緑を増やしたいと思いました。



大阪府東大阪市立英田中学校 3年  
**佃 和香**

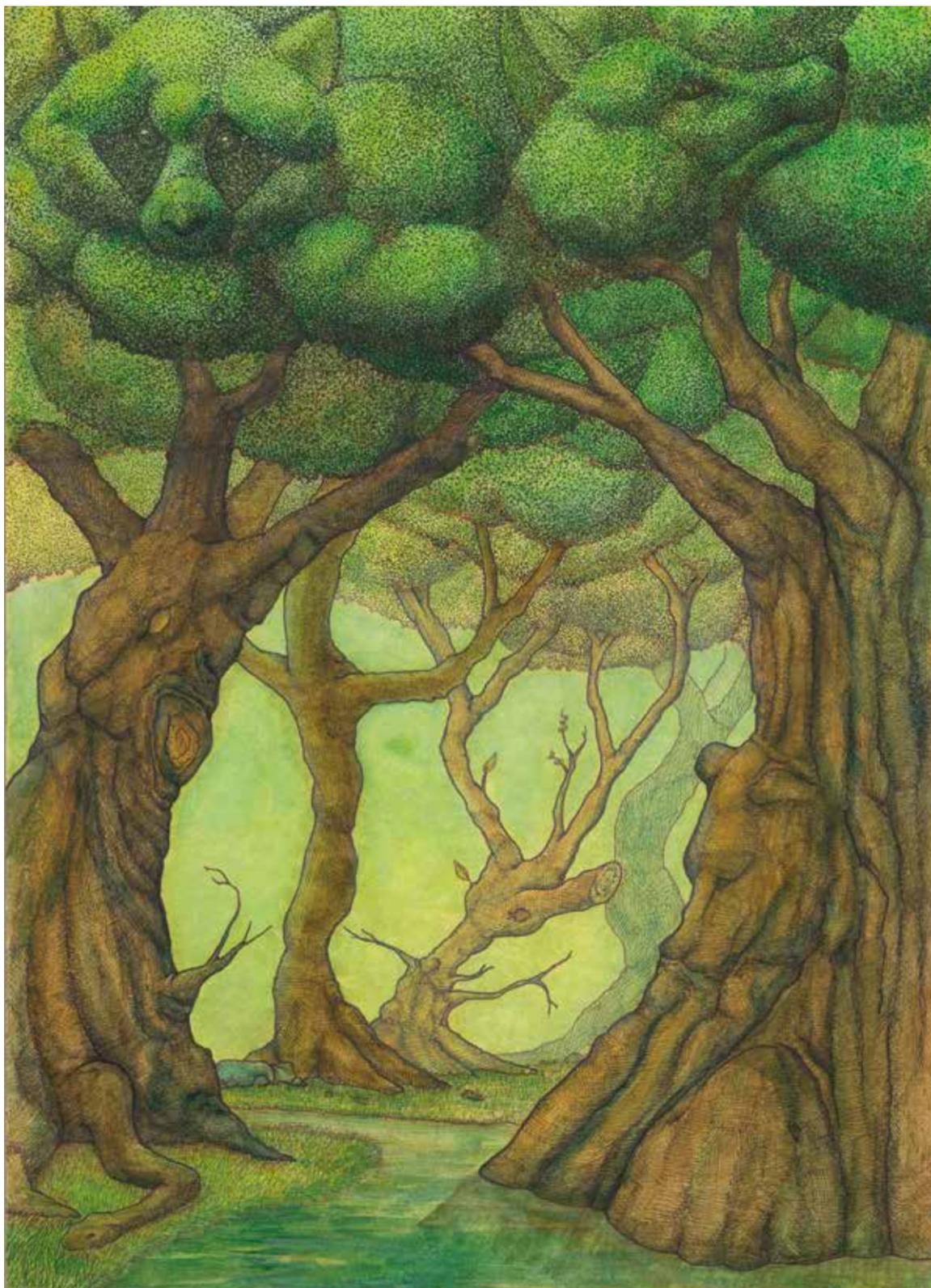
タイトル「恋人」  
「海と山は恋人」と教科書にのっていました。どちらも永遠にさかえてほしいから。



千葉県柏市立酒井根中学校 2年  
秋谷 壬結

タイトル「雨があがれば…」

私は、雨があがった後の緑や光にあたって輝く水滴が一番綺麗で、一番生き生きとしたように見せることができると思ったので、あえて晴れの時ではなく、雨の後の絵を書きました。新芽を前に書き、その後ろに伸びた茎、木の幹を書くことで、緑の成長を描き、地面を土ではなく落ち葉にすることで、成長し終わった後も描きました。そして、絵の中に人間を入れることで、自然と人の共存が大事だということを伝えたいと思いました。



京都府京都市立銅駝美術工芸高等学校 3年

尾崎 アロハ

タイトル「生命の住処 (いのちのすみか)」

森は動物の住処。そして緑もまたひとつの命。だまし絵の技法を使って木々の中に動物達を隠すことで、“緑が増えると動物が増える”というメッセージを込めました。



国土緑化運動ポスター原画

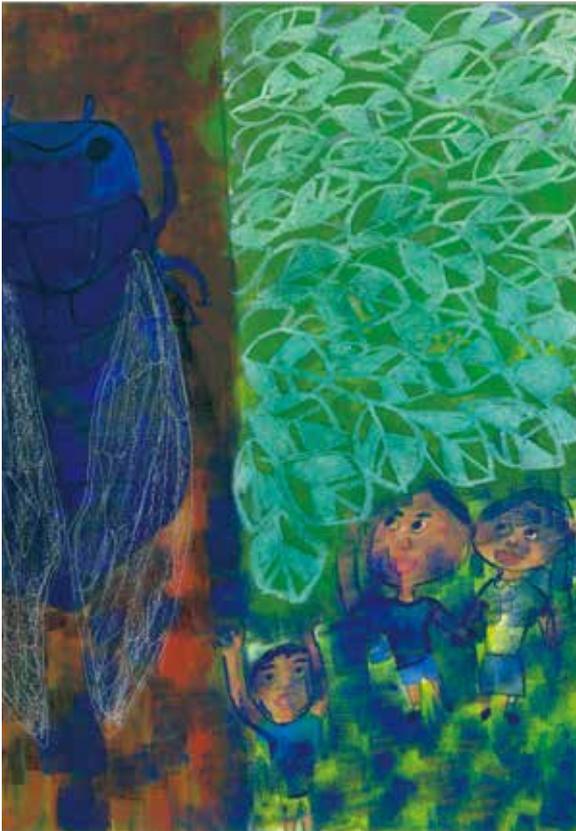


石川県立工業高等学校 1年

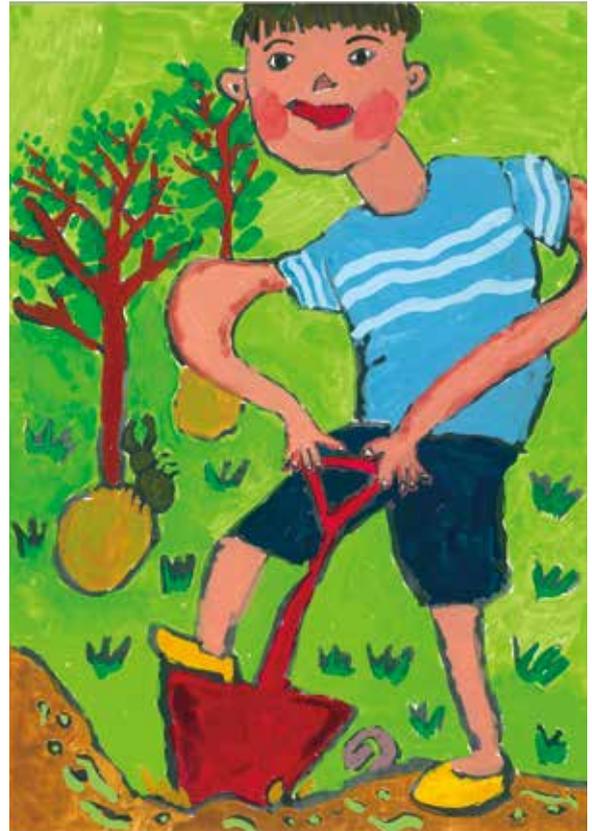
川本 望未

タイトル「描く、育つ、緑ある未来」

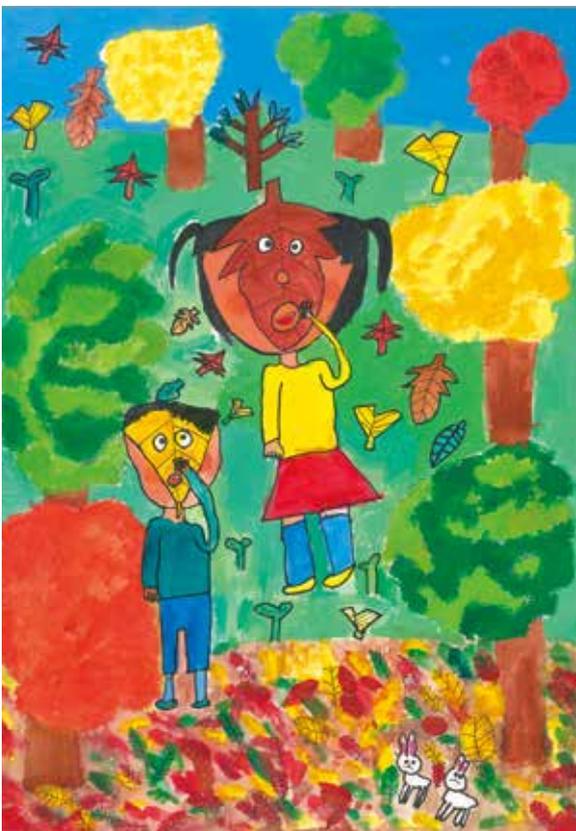
私たちが緑ある未来を望み、それを実現させようと植樹・育樹などの行動を起こせば、木々は時間をかけて育っていき、将来の世代により良い環境をつなげることができる。だから、行動することの大切さを伝えたかった。



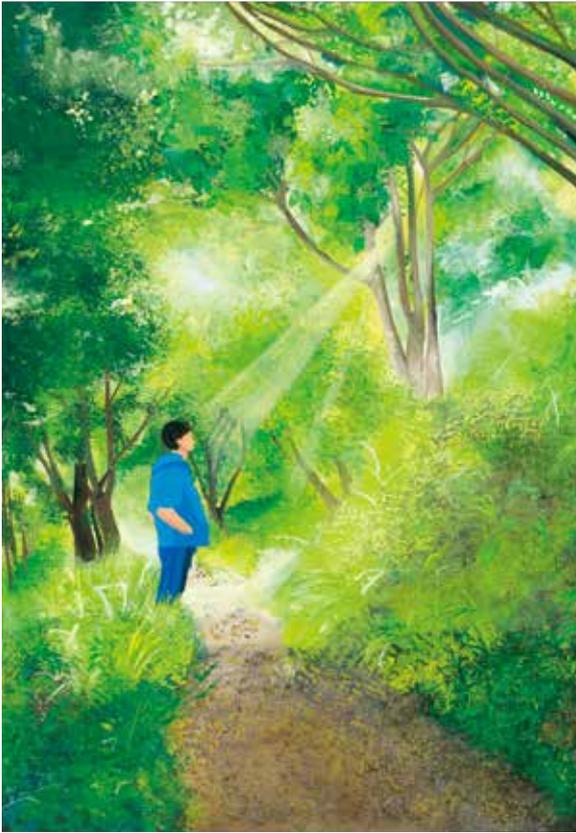
千葉県木更津市立金田小学校 3年  
永井 文人



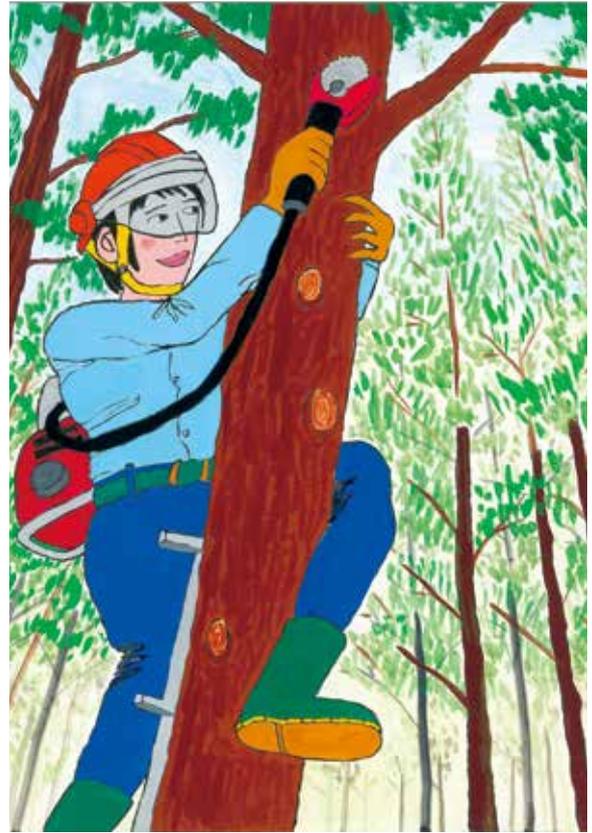
新潟県新潟市立南万代小学校 2年  
南雲 唯斗



静岡県磐田市立磐田西小学校 2年  
宮崎 梓



東京都墨田区立竪川中学校 1年  
宮城 太河



長野県南箕輪村立南箕輪中学校 2年  
伊藤 千紘



大阪府大阪市立上町中学校 1年  
川口 愛夏



茨城県立土浦第二高等学校 2年

山田 向葵



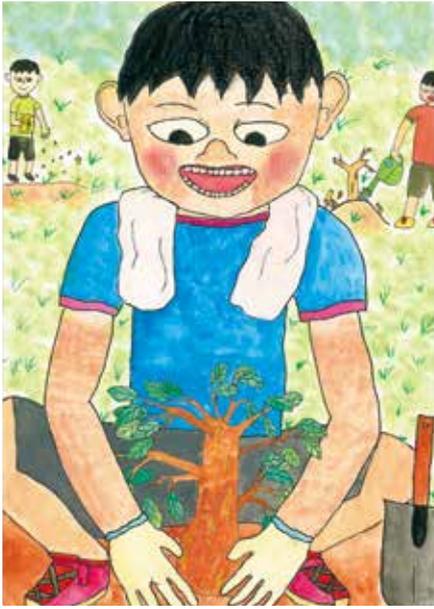
東京都立板橋特別支援学校 2年

山形 恭太郎



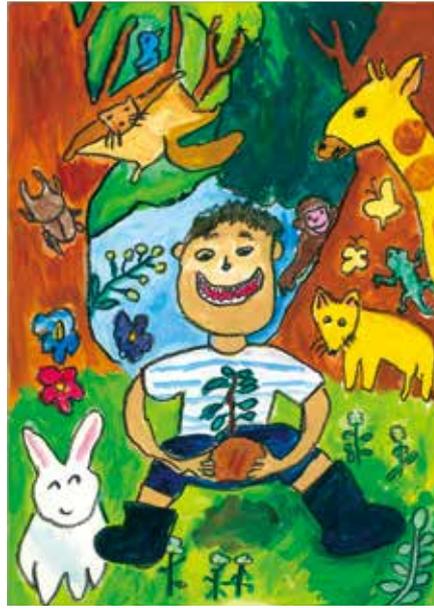
沖縄県立浦添高等学校 1年

石川 珠羽



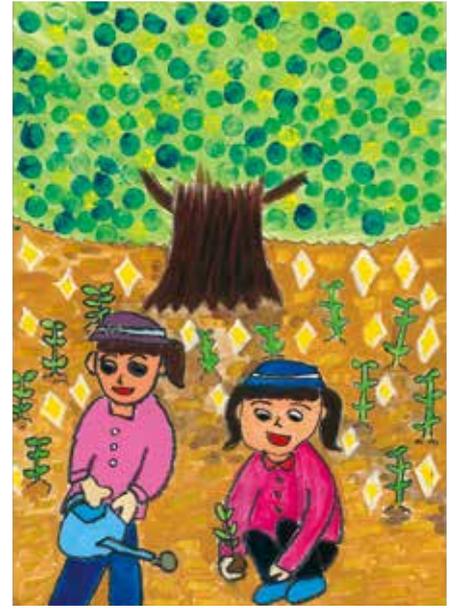
岩手県北上市立  
江釣子小学校 5年

高舘 智希



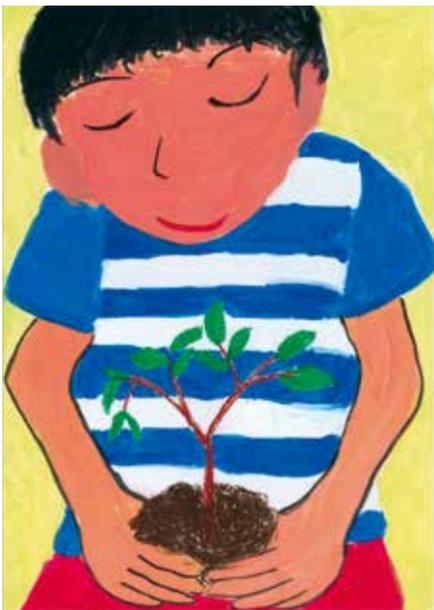
茨城県つくばみらい市立  
陽光台小学校 1年

本橋 樹



茨城県五霞町立  
五霞東小学校 3年

鳩貝 日菜



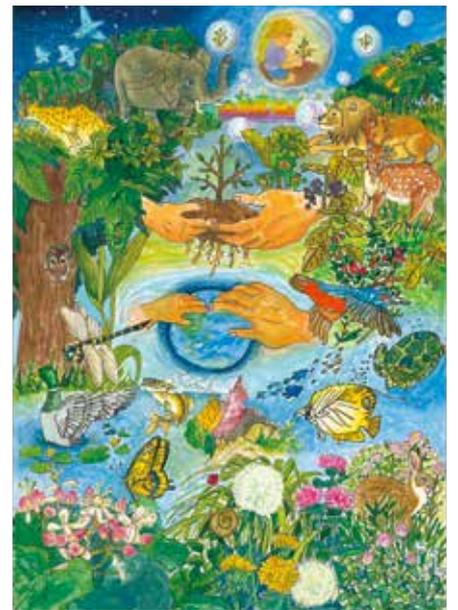
栃木県栃木市立  
皆川城東小学校 2年

片柳 柁翔



群馬県安中市立  
原市小学校 5年

森谷 銀一郎



千葉県茂原市立  
東郷小学校 5年

溝部 優花



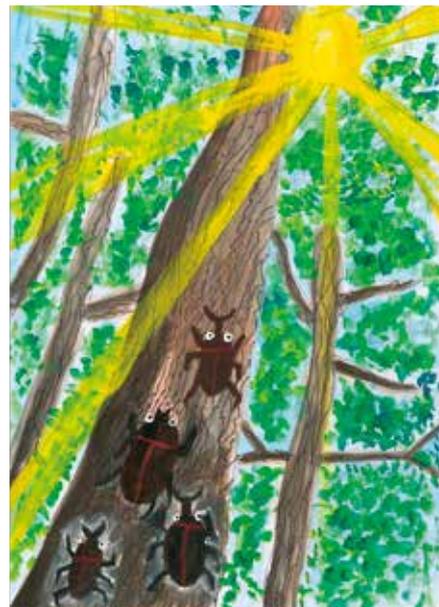
神奈川県横浜市立  
小机小学校 6年

高原 明希



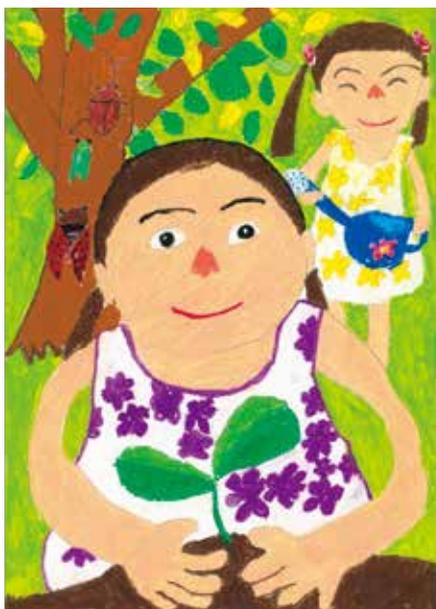
石川県七尾市立  
朝日小学校 1年

多木 小怜



長野県上田市立  
豊殿小学校 3年

村田 千波留



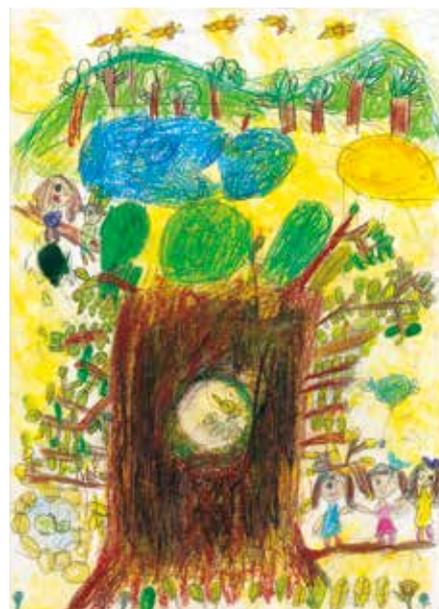
愛知県常滑市立  
大野小学校 1年

山崎 文雅



滋賀県甲賀市立  
大原小学校 4年

大治 空楽



京都府亀岡市立  
保津小学校 1年

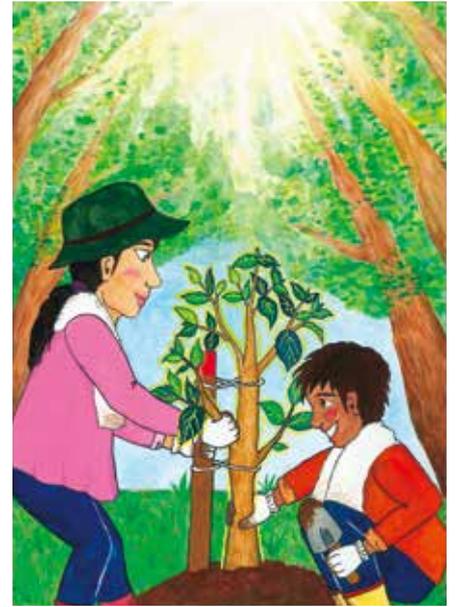
山内 杏



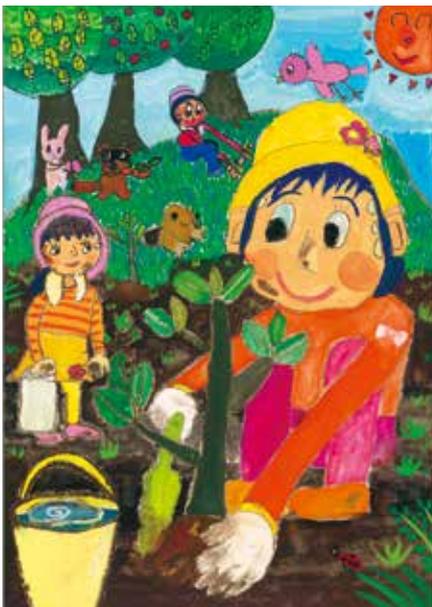
和歌山県和歌山市立  
西脇小学校 6年  
草谷 美月



山口県光市立  
岩田小学校 3年  
山本 心嘉



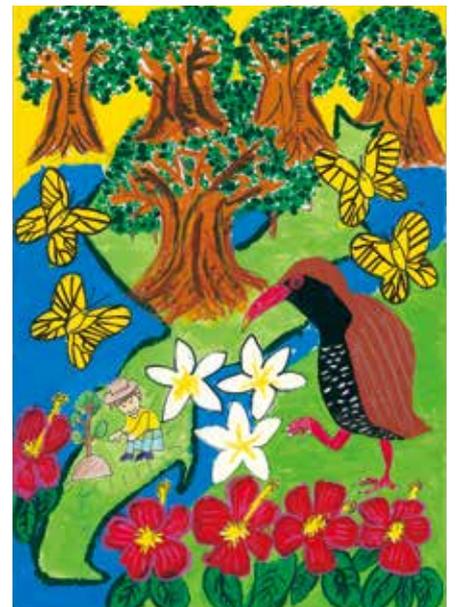
香川県丸亀市立  
飯山北小学校 5年  
吉田 航太郎



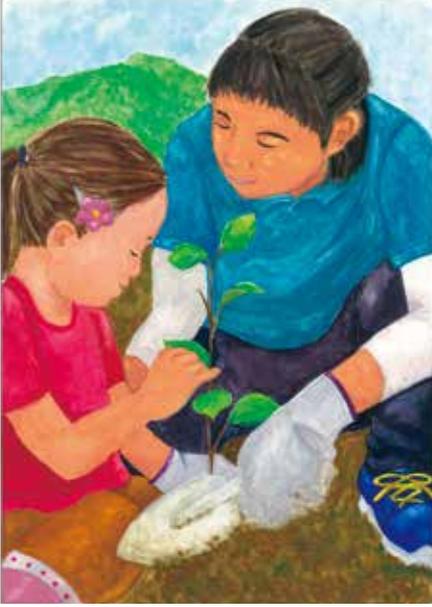
愛媛県松前町立  
北伊予小学校 3年  
窪田 愛実



熊本県苓北町立  
志岐小学校 3年  
川田 琉斗



沖縄県名護市立  
安和小学校 5年  
比嘉 颯太



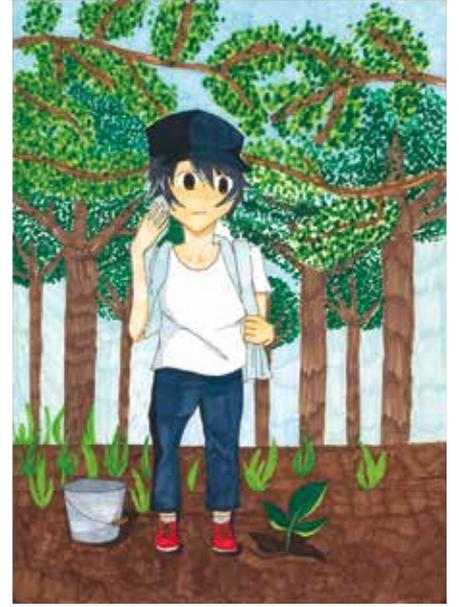
岩手県北上市立  
江釣子中学校 2年

藤田 若葉



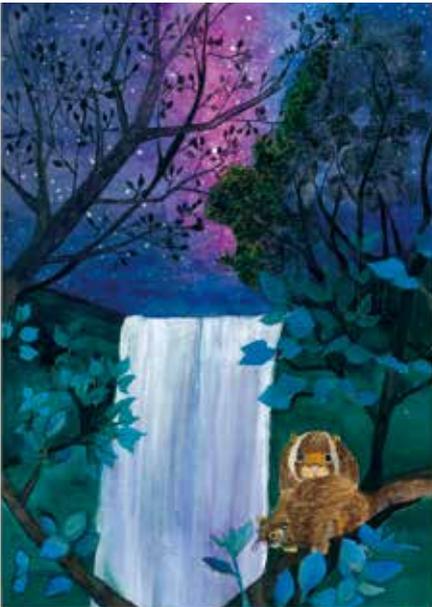
宮城県大崎市立  
古川中学校 2年

佐藤 陽



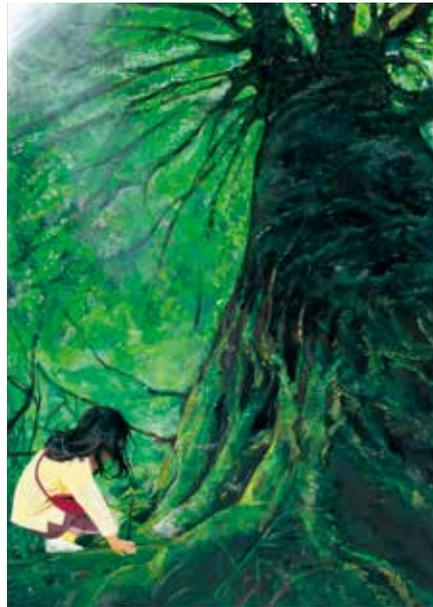
秋田県秋田市立  
城東中学校 1年

齋藤 佑華



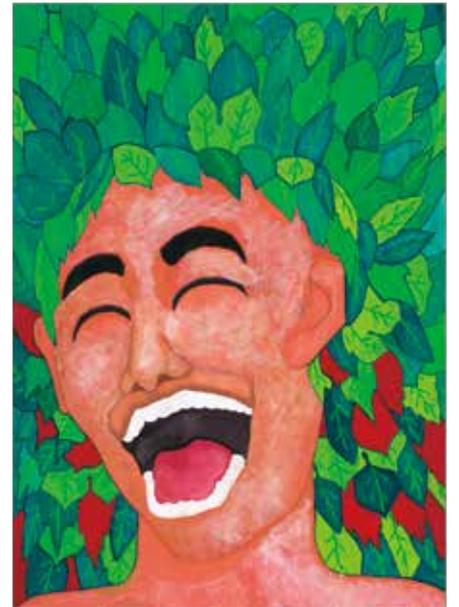
千葉県大網白里市立  
大網中学校 1年

中島 悠貴



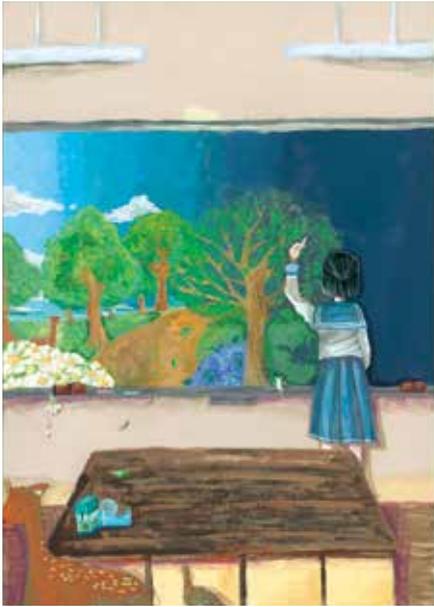
東京都墨田区立  
豎川中学校 3年

浅野 煌美



神奈川県伊勢原市立  
山王中学校 1年

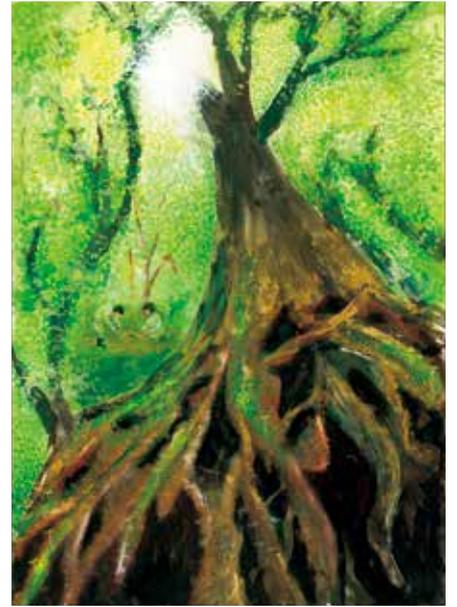
関西 銀一郎



岐阜県池田町立  
池田中学校 2年  
阿部 光夏



兵庫県播磨町立  
播磨中学校 2年  
佐伯 和香



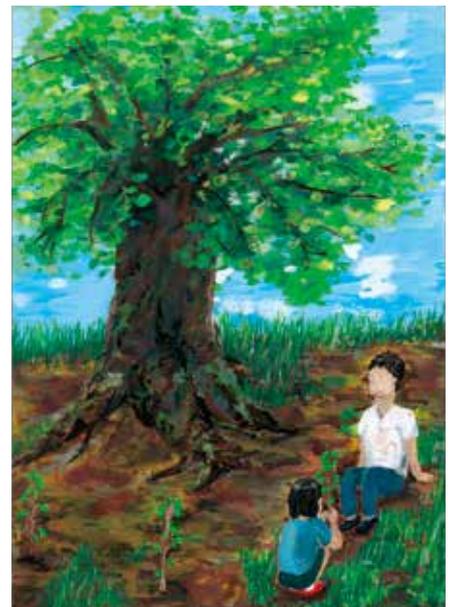
島根県江津市立  
青陵中学校 3年  
石金 悠星



岡山県倉敷市立  
北中学校 3年  
石井 悠莉



山口県晃英館中学校 3年  
西村 和佳



佐賀県多久市立  
東原彦舎東部校 9年  
松瀬 玄弥



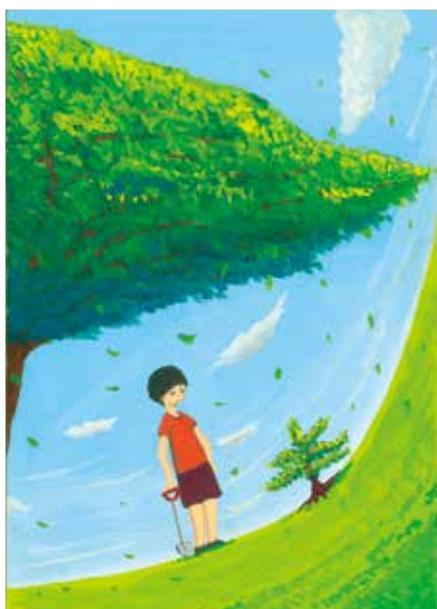
福島県立  
小野高等学校 2年  
吉田 亜衣



神奈川県立  
神奈川工業高等学校 2年  
塩野 桃子



滋賀県立  
甲良養護学校 3年  
來住 安珠



奈良県立  
畝傍高等学校 1年  
森川 裕貴



島根県立  
松江北高等学校 2年  
熱田 菜月



徳島県立  
城北高等学校 2年  
木村 友香

# 令和2年用 国土緑化運動・育樹運動ポスター

## 原画コンクール入賞者

### 小学校の部

**特選** 文部科学大臣賞／  
国土緑化推進機構会長賞  
宮崎県都城市立安久小学校6年  
時吉 ふわり

農林水産大臣賞  
島根県安来市立荒島小学校5年  
野坂 桃子

**準特選** 林野庁長官賞  
千葉県木更津市立金田小学校3年  
永井 文人

新潟県新潟市立南万代小学校2年  
南雲 唯斗

静岡県磐田市立磐田西小学校2年  
宮崎 梓

**入選** 国土緑化推進機構理事長賞  
岩手県北上市立江釣子小学校5年  
高舘 智希

茨城県つくばみらい市立陽光台小学校1年  
本橋 樹

茨城県五霞町立五霞東小学校3年  
鳩貝 日菜

栃木県栃木市立皆川城東小学校2年  
片柳 柊翔

群馬県安中市立原市小学校5年  
森谷 銀一郎

千葉県茂原市立東郷小学校5年  
溝部 優花

神奈川県横浜市立小机小学校6年  
高原 明希

石川県七尾市立朝日小学校1年  
多木 小怜

長野県上田市立豊殿小学校3年  
村田 千波留

愛知県常滑市立大野小学校1年  
山崎 文雅

滋賀県甲賀市立大原小学校4年  
大治 空榮

京都府亀岡市立保津小学校1年  
山内 杏

和歌山県和歌山市立西脇小学校6年  
草谷 美月

山口県光市立岩田小学校3年  
山本 心嘉

香川県丸亀市立飯山北小学校5年  
吉田 航太郎

愛媛県松前町立北伊予小学校3年  
窪田 愛実

熊本県苓北町立志岐小学校3年  
川田 琉斗

沖縄県名護市立安和小学校5年  
比嘉 颯太

### 中学校の部

**特選** 文部科学大臣賞  
大阪府東大阪市立英田中学校3年  
佃 和香

農林水産大臣賞  
千葉県柏市立酒井根中学校2年  
秋谷 王結

**準特選** 林野庁長官賞  
東京都墨田区立翌川中学校1年  
宮城 太河

長野県南箕輪村立南箕輪中学校2年  
伊藤 千紘

大阪府大阪市立上町中学校1年  
川口 愛夏

**入選** 国土緑化推進機構理事長賞  
岩手県北上市立江釣子中学校2年  
藤田 若葉

宮城県大崎市立古川中学校2年  
佐藤 陽

秋田県秋田市立城東中学校1年  
齋藤 佑華

千葉県大網白里市立大網中学校1年  
中島 悠貴

東京都墨田区立翌川中学校3年  
浅野 煌美

神奈川県伊勢原市立山王中学校1年  
関西 銀一郎

岐阜県池田町立池田中学校2年  
阿部 光夏

兵庫県播磨町立播磨中学校2年  
佐伯 和香

島根県江津市立青陵中学校3年  
石金 悠星

岡山県倉敷市立北中学校3年  
石井 悠莉

山口県英彦館中学校3年  
西村 和佳

佐賀県多久市立東原庫舎東部校9年  
松瀬 玄弥

### 高等学校の部

**特選** 文部科学大臣賞  
京都府京都市立鋼駝美術工芸高等学校3年  
尾崎 アロハ

農林水産大臣賞／  
国土緑化推進機構会長賞  
石川県立工業高等学校1年  
川本 望未

**準特選** 林野庁長官賞  
茨城県立土浦第二高等学校2年  
山田 向葵

東京都立板橋特別支援学校2年  
山形 恭太郎

沖縄県立浦添高等学校1年  
石川 珠羽

**入選** 国土緑化推進機構理事長賞  
福島県立小野高等学校2年  
吉田 亜衣

神奈川県立神奈川工業高等学校2年  
塩野 桃子

滋賀県立甲良養護学校3年  
來住 安珠

奈良県立敬信高等学校1年  
森川 裕貴

島根県立松江北高等学校2年  
熱田 菜月

徳島県立城北高等学校2年  
木村 友香

## 原画応募者総数一覧

県名	応募者数			応募合計
	小学校	中学校	高等学校	
北海道	69	141	2	212
青森	0	3	0	3
岩手	191	56	9	256
宮城	118	95	0	213
秋田	33	25	2	60
山形	20	48	0	68
福島	18	46	4	68
茨城	155	413	89	657
栃木	93	156	9	258
群馬	176	170	8	354
埼玉	137	75	27	239
千葉	5,749	1,827	0	7,576
東京	168	670	8	846
神奈川	123	105	57	285
新潟	55	33	4	92
富山	97	310	10	417
石川	16	68	10	94
福井	133	262	0	395
山梨	444	416	0	860
長野	107	139	32	278
岐阜	144	178	57	379
静岡	51	81	48	180
愛知	2,344	1,041	24	3,409
三重	50	174	4	228
滋賀	736	99	6	841
京都	6,032	271	19	6,322
大阪	95	236	67	398
兵庫	830	430	88	1,348
奈良	166	311	66	543
和歌山	9	110	58	177
鳥取	6	11	34	51
島根	46	110	29	185
岡山	321	52	27	400
広島	742	542	46	1,330
山口	38	243	71	352
徳島	47	111	27	185
香川	494	132	105	731
愛媛	542	311	90	943
高知	0	17	0	17
福岡	3	7	3	13
佐賀	28	122	52	202
長崎	128	301	3	432
熊本	56	45	22	123
大分	1	8	0	9
宮崎	8	88	17	113
鹿児島	1	4	1	6
沖縄	25	44	30	99
合計	20,845	10,137	1,265	32,247

# 令和3年用 ポスター原画コンクール募集について

国民一人一人に国土緑化の大切さを知ってもらい、森林や樹木を守り育てる運動を日本全国に広めてゆくために、令和3年用の国土緑化運動・育樹運動ポスター原画を次の要領で小学生、中学生、高校生のみなさんから募集しています。

1. 図柄は自由ですが、創作に限ります。国土緑化の意味を表し、特に植樹及び森林・樹木保護の大切さをテーマに取り上げて下さい。
2. 表現する画材はクレヨン、パステル、アクリル、水彩絵具のいずれかとし、貼り絵を含みます。他の絵を汚すおそれのある油絵具等はいないで下さい。なお、貼り絵の場合には、確認用の原画カラー写真（サイズは原画の2分の1以上）を添付して下さい。
3. 使用する用紙は画用紙（ケント紙を含みます。）または紙製ボードで大きさはB3判（縦51cm×横36cm）を原則〔ただし、特別の理由があれば、四つ切り（縦54.5cm×横39.4cm）でも可〕とし、縦画（たて長）に使用して下さい。また、パネルはいないで下さい。
4. 図に標語などの文字を書き入れないで下さい。
5. 応募作品は都道府県段階で選定し、中央審査会で決定します。特選作品には文部科学大臣賞または農林水産大臣賞が授与されます。また、このうちポスター原画として採用された作品には国土緑化推進機構会長賞が授与されます。準特選作品には林野庁長官賞、入選作品には国土緑化推進機構理事長賞が授与されます。
6. 応募作品は、学校を通じて提出して下さい。  
締め切りや応募先など詳しいことは、それぞれ学校の先生にお聞き下さい。
7. 入賞作品は、ポスターのほか、当機構の機関誌、絵はがきなど緑化の普及啓発のために使用することがあります。
8. 応募作品の送付は学校単位でお願いします。なお、送付先については、都道府県緑化推進委員会にお問い合わせ下さい。個人での直接の送付は受付けておりません。

なお、受賞者の方々は、令和3年春季に滋賀県で行われる「第72回全国植樹祭」会場で表彰されます。

公益社団法人 国土緑化推進機構



編集・発行

公益社団法人 国土緑化推進機構

制作：前田印刷株式会社

〒102-0093 東京都千代田区平河町2丁目7番4号 砂防会館別館5階

電話 03-3262-8451（代） FAX 03-3264-3974

ホームページアドレス <http://www.green.or.jp>

電子メールアドレス [info@green.or.jp](mailto:info@green.or.jp)